



R6 上半期学校評価アンケート結果号
令和6年9月27日（金）
京都市立待鳳小学校 校長 牧 紀彦

学校教育目標「考えを深め合い、夢に向かって挑戦する待鳳の子」

保護者



7月にすぐーるで配信した学校評価へのご協力ありがとうございました。8割を超える保護者の方からご回答いただき、うれしく思います。いただいたアンケートの回答をもとに、今後の学校づくりの参考にさせていただきます。12月ごろに同じような形で、下半期の学校評価アンケートを実施する予定です。引き続きご協力いただきますようよろしくお願いします。



アンケートの項目を更新しました 今年度より、アンケートの項目をより「学校教育目標」に沿った形に変更しています。お答えしにくい内容をもあったとは思いますが、「めざす子ども像」とアンケート項目とを系統立てることで、「授業改善」や「学級指導」により生かしやすくなると判断しました。本校では、年度末、年度初めの協議の中で、本校の「育成を目指す資質・能力」について、地域の方々のご意見も取り入れながら以下のように考えました。

＊育成を目指す資質・能力

- ・自分事として考える力
- ・「自分たちで」「自分たちが」考えて行動する力
- ・人と関わり合って、考えを深める力
- ・体験・経験を知識と結びつけて考える力
- ・失敗を恐れず挑戦する力
- ・自己をふり返り、次に生かす力

これらの資質・能力の育成を目指し、日々の学習や取組を進めていく中で、上半期と下半期での数値の変化に着目しながら、「学校評価アンケート」に分析を加えていきたいと思ひます。

保護者アンケート結果

グラフの左端（濃い部分）が肯定的なご意見（よくあてはまる、大体あてはまる）、右端に行くにつれて、否定的なご意見（あまりあてはまらない、あてはまらない）となっています。

肯定的な意見が目立つ項目としては、「子どもは日常のいろんなことに「なぜ?」「どうして?」などの疑問を感じる人が多い」「子どもは自分の考えをおうちでよく話している」「子どもは自分には長所があると感じていると思う」「子どもは人の役に立つことが好きだ」などが挙げられると思ひます。どれも、上記の資質・能力を高める原動力となるものばかりです。特に、児童の「自己肯定感の高さ」は、児童の「やる気」「粘り強さ」につながる重要な資質です。学校での取組だけでなく、ご家庭での生活習慣の確立や、声かけにも支えられてこそ高まるも

のだと思ひますので、大変ありがたく感じております。学校でも家庭でも、失敗を恐れずにのびのびと自己を高めようとする意欲をもてるよう、前向きで肯定的な声かけをしていきたいところではあります。同時に、「いじめや暴力など、ダメなことはダメ」という毅然とした指導も時には必要だと考えています。

次に、否定的な意見の多かった項目について見ていきたいと思ひます。

「子どもはめあてや目標を実現するために、自分で計画を立てている」（肯定的 39.6% 否定的 60.4%）

「子どもは自分のしたことを振り返り、次に生かそうとしている」（肯定的 66.8% 否定的 33.2%）

「子どもは知りたいことについて、よく自分で調べたり考えたりしている」（肯定的 67.3% 否定的 32.7%）

以上の3項目については、どれも実現の難しい項目だと思ひます。学校の授業の中では繰り返し行っているものの、家庭学習等でそれを実践するのは、特に低学年の場合難しいところです。先日、「家庭学習」のアンケートを取らせていただき有意義なご意見を多数いただきました。学校と家庭とがひざを突き合わせて「より主体性を伴った家庭学習の在り方」を模索できたらと考えております。そして、例えば、「テスト勉強に向けて自分の目標をもち、学習計画を立て、主体的にテスト勉強に取り組む姿」や「興味のある事柄を自己選択し、ICTや書籍を使って自ら調べ、計画的に自主学習に取り組む姿」などを目指していけたらと考えております。

「子どもは失敗を恐れずいろんなことに挑戦しようとしている」（肯定的 57% 否定的 43%）

「子どもは一度うまくいかなくてもすぐにあきらめず、また挑戦しようとしている」（肯定的 65.4% 否定的 34.6%）

上記の2項目については、左に記述した内容に関連しますが、家庭での姿からはなかなか見取りづらい内容だったのではないかとと思ひます。逆境に負けずに困難に立ち向かう力のことを「レジリエンス」といいます。レジリエンスを高めるためには、内からの意欲、主体性がどれだけ生み出されるかが重要です。そういう視点で、次は児童アンケートの結果を見てみましょう。（裏面へ）



<div>児童アンケート結果</div> <p>アンケートの数値を見ていると、待鳳小の子どもたちは、“聞く姿勢に優れ、学習にも前向きに取り組む、人の役に立つことや人にあいさつをすることなどに喜びを感じている”ことがわかります。とても子どもらしい、素敵な姿です。一方で、“自分の考えを回りの人に伝えたり、自分の考えをしっかりとって、目標や計画を立てたりすることには苦手を感じている”ようです。「自分のことは好きですか」（肯定的 81.4％、否定的 18.6％）という質問に対する回答も、否定的な意見が他の質問に比べ若干多いことから、自信をもって未知のことにチャレンジすることは、まだまだハードルが高いようです。学校として、「子どもたちの主体性を伸ばすために何ができるか」ということを、現在進行形で模索しているところです。</p> <p>一つの方策として、「課題選択学習」ということを考えています。子どもたちが自ら取り組むべき「課題」を設定し、自由な空間、自由な方法で調べ学習を進めていくような学習です。社会科や生活科、おおとりタイム、仲よし学級の生活単元学習などで取り入れています。</p> <p>もう一つは、児童会活動の活発化です。これについては 2 年前から継続して行っています。「みんなでつくろう！夢の学校」を合言葉に、委員会やクラブ活動、たてわり活動、学校行事などで、子どもたちのアイデアを引き出す工夫をしています。特に委員会活動については教師が前に出て指導することをなるべく控え、子どもたちの発想やアイデアを大切にし、様々なイベントや行事を今までも行ってきました。1 年生を迎える会や 6 年生を送る会でも、参加者が楽しめる会になるよう、企画・運営を子どもたちが担っています。よく話し合い、よりよいものにしていこうと工夫して動くことで、子どもたちのやる気スイッチが押されることを狙っています。実際、「次の委員会が楽しみ。」「次は◎◎をしたいな。」という声を子どもたちから聞くことが増えてきました。</p> <p>以下、自由記述でいただいたその他のご意見です。個人が特定されるものについては若干の校正を加えています。紙面の都合上全てを掲載しているわけではございません。ただし、いただいたすべてのご意見については教職員で内容を共有し、今後の学校生活、学習指導に生かしていきたいと考えております。</p> <ul style="list-style-type: none">・学校でしか得られないたくさんの事を経験させて頂き感謝しています。家でも先生の特技の話や学校であったことを自ら話してくれるので、楽しく充実した生活をしているのだと思います。いつも先生方の積極的な姿勢に子ども達も感化されているようです。本当にありがとうございます!!・子どもが待鳳小学校に通うようになり、多くの取組がなされていると感じています。「失敗を恐れず挑戦する」ということが、小学校の間に身につけていれば、中学校でもその子は力を伸ばすことができると感じています。現在、待鳳	<p>小学校でなされている取組の中で、E 組さんがあることや図書ボランティアがあることも、大変よいと感じています。</p> <ul style="list-style-type: none">・自分がやりたい事を自分の力で頑張れる人間、他者の幸せを望むことができる視野を持ってくれたらと思っています。与えられる事を当然のように思ったり、自分が上手くいかないのは他人や世の中のせいにしたりする大人にだけはなってほしくないの、子どもができることはなるべく任せたいと思っています。失敗も含めて。とは言っても日頃の生活の中で親として放置ではなく最低限のサポートのバランスを模索する日々ではあります。待鳳小学校は、主権者教育を意識した取組など先生方が色々工夫してくださっているのを感じています。取組が子どもの生きる力にフォーカスしているように感じているので、今後とも引き続きどうぞよろしくお願いいたします。・家庭での子育ての困りは多いですが、学校に安心して相談できる体制も取ってくださっていることも、こちらの安心感につながっています。本当に教職員の皆様は多忙な中、校長先生を筆頭に一人ひとりの先生方の努力で、素晴らしい学校づくりがなされていると感じています。日々感謝しております。本当にありがとうございます。・学校に行くと、学校での様子がわからなくなったと感じます。教育機関ではありますが、まだまだ生活やそこへのサポート、関わりが大切な時期だと思います。もっと共有できたら嬉しいと思いますが、先生も忙しそう。・進級して、担任の先生が子どもの事を良く理解していただき認めてもらいながら良いところを伸ばしてもらっていると感じており大変感謝しております。子どもが頑張っている姿を見るとついつい、最初は本人が楽しめたら良いと思っていたのに、もっと頑張れるはずとどんどん期待してしまったりする事が、学年があがると増えてきてしまったように思います。親が主体ではなく子どもが主体であることをついつい忘れがちになり反省することがあります。子どもには、今しかできない色々なことを楽しんでほしいと思います。いつも温かく見守っていただきありがとうございます。・意欲はあるが続かない、勉学の振り返りや反省はまだ自分ではできていない。気づきと継続をテーマに、親も根気強く一緒に成長しないといけないと思ってはいるのですが、なかなか難しいです。・おかげさまでいつも楽しみに通学しているようです。宿題が多いようなので子ども自身の時間の確保のため減らしていただければありがたいです。・楽しく学校に行けている。学校や先生やお友達の話をよくしてくれる。お友達をよく家に連れてきて一緒に遊べている。保護者同士の繋がりがあまりないのがさみしい。参観、懇談、親参加のイベントがもっとあれば楽しい。「お茶会サイコーでした!!」だから登下校の見守り当番を作るとか、プールの監視員として、親も数人行く。とか、遠足の補助員ボランティアとか、給食一緒に食べる会とか。お仕事されているとか、小さいお子さんがおられるご家庭は難しいですが、、、
---	---